

断章のグリム 〈8〉



[断章のグリム 〈8〉 下载链接1](#)

著者:甲田学人 (著)

出版者:アスキーメディアワークス

出版时间:2008-8-10

装帧:

isbn:9784048671729

七月初め。金森琴里が自殺した。恋人の石田臣は、その理由について自分を責めていた。琴里の机の上に置かれた花瓶の前で落ち込み悩む臣。やがて、無言のまま乱暴に一本の白いユリを引き抜き、立ち去っていく。机の上にこぼれた水が広がり、その上に人間の足跡が浮かび上がったことに気づくこともなく一。人魚姫の“泡禍”事件から二ヶ月。一人残された海部野千恵を見舞いに、蒼衣は雪乃と離れ、再び海辺の町を訪れる。そして、蒼衣の目の前で繰り広げられたのは、琴里の母親の惨劇。彼女の死を悼み臣が持ち帰った白いユリは、決して枯れることもなく静かに風に揺れていた一。鬼才が贈る悪夢の幻想新奇譚、第八幕。

作者介绍:

甲田 学人

1977年、岡山生まれ。津山市出身。二松学舎大学卒(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[断章のグリム〈8〉_下载链接1](#)

标签

甲田学人

輕小說

断章格林童话

電擊文庫

轻小说

断章のグリム

评论

一篇很不出名的童话，应该译成“石竹花”么？本卷是上篇，书里对恐怖气氛的描写过多，相对而言故事推进的略慢，有点刻意分成两本之嫌。

格林童話的冷門篇章。千惠妹子二度登場，沒了長髮之後，這次登場還沒了一隻眼加毀容，甲田學人你.....基本是1/5的人物關係、1/5的象征解說和3/5的靈異事件，後面一大段內容都是驚聲尖叫的探索。跟人魚姬上集差不多的故事模式。關於花象征魂與受難、

黑犬象征貪慾惡德以及犬作為死者靈魂引導的討論依舊有趣。

原型很冷门不过氛围气依然绝佳

[断章のグリム〈8〉_下载链接1](#)

书评

[断章のグリム〈8〉_下载链接1](#)